

JIS

銅及び銅合金中のりん定量方法

JIS H 1058 : 2013

(JCBA/JSA)

平成 25 年 1 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	里 達 雄	東京工業大学
(委員)	石 田 徳 和	三菱マテリアル株式会社
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	上 本 道 久	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	江 崎 正	一般社団法人電子情報技術産業協会 (ソニー株式会社)
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	緒 形 俊 夫	独立行政法人物質・材料研究機構
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	根 上 和 彦	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	萩 原 益 夫	ISO/TC79/SC11 (チタニウム) 国際議長
	長谷川 隆 代	昭和電線ケーブルシステム株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	星 幸 弘	日本鋳業協会
	村 松 俊 樹	古河スカイ株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.11.1 改正：平成 25.1.21

官 報 公 示：平成 25.1.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本伸銅協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-3836-8801)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 里 達雄)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 一般事項	1
4 定量方法の区分	1
5 モリブドバナドリル酸吸光光度法	4
5.1 要旨	4
5.2 試薬	4
5.3 試料はかりとり量	5
5.4 操作	5
5.5 空試験	5
5.6 検量線の作成	5
5.7 計算	6
6 モリブドバナドリル酸抽出吸光光度法	6
6.1 要旨	6
6.2 試薬	6
6.3 試料はかりとり量	7
6.4 操作	7
6.5 空試験	9
6.6 検量線の作成	9
6.7 計算	9
7 モリブドリル酸抽出モリブドリル酸青吸光光度法 (A 法)	10
7.1 要旨	10
7.2 試薬	10
7.3 試料はかりとり量	11
7.4 操作	11
7.5 空試験	12
7.6 検量線の作成	12
7.7 計算	12
8 モリブドリル酸抽出モリブドリル酸青吸光光度法 (B 法)	13
8.1 要旨	13
8.2 試薬	13
8.3 試料はかりとり量	14
8.4 操作	14
8.5 空試験	14